

## 資料4-1

平成24年度第一回河川工作物アドバイザー会議資料

# サケ類遡上数等調査の試験実施について（長期モニタリング）

# 調査方法「遡上数調査（定点）」

## 【対象河川】

ルシャ川・テッパンベツ川・ルサ川

## 【調査期間】

カラフトマスの遡上時期にあわせ8月第4週～10月第3週とし、各河川週2回調査

## 【調査方法】

河口部に定点を設け8時～16時まで2時間毎に20分間、定点を通過する遡上数と降下数をカウント

## 【遡上数の推定】

台形近似法により推定

# 調査方法「産卵床調査」

## 【対象河川】

ルシャ川・テッパンベツ川

## 【調査時期】

カラフトマスの産卵少数が最大となる9月下旬～10月上旬の間に各河川2回調査

## 【調査範囲】

河口部から扇状地の上端まで

## 【調査方法】

100m毎に区間を区切り産卵床を全数カウント

# 今年度（2012年度）の調査は、遡上数、産卵床数調査に加えて

- ・ 試験的、予備的な調査として、以下の調査・検証を実施
  - ① 産卵床調査範囲確定のための測量  
→ルシャ川、テッパンベツ川
  - ② 調査へのヒグマの影響
  - ③ 遡上調査については、これまで北海道が実施してきた区間カウント法と今回の定点法との関連性の検証  
→ルサ川



# 来年度(2013年度)以降の調査は・・・

## ○対象河川

ルシャ川、テツパンベツ川、ルサ川

## ○調査内容

対象河川において遡上数調査と産卵床調査を実施